

会報

54号



発所 函館の歴史的風土を守る会
 事務局 函館市五稜部 43-9
 五稜部クワ一棟内
 TEL: (0138)51-4785
 FAX: (0138)32-6390

開港5都市景観会議 函館大会について!

会長 浜島国四郎

今年2月3~4日、新潟市に於いて「第3回開港5都市景観会議」が開催され、浜島、村岡武司氏(元町倶楽部代表)と市より2名参加した。

「開港5都市景観会議」とは、安政元年(1854)日米和親条約に基き下田、箱館の2港が開かれ、更に安政5年(1858)日米修好通商条約で、箱館、神奈川、長崎、新潟、兵庫の5港が開港されたことを機縁として、5都市の市民団体が一同に会し、市民主体の「まちづくり」について意見交換し、交流を深めることを目的として開催されて来た。

神戸大会(平成5年)長崎大会(平成6年)新潟大会(平成7年)そしていよいよ「函館大会」が平成8年度に開催される見込みとなった。

「函館大会」の取組みについては、歴風会は、元町倶楽部・伝統的建造物群保存会・函館市景観課の協力のもと、早急に実行委員会を結成し、会議の成功に万全を期すべく、現在、10月19日(土)・20日(日)を開催予定日として、目下準備をすすめて居るところです。

皆様の積極的な参加を期待しています。

平成8年度の事業担当者決まる!

総会終了後開催された第1回(5/31)・第2回(6/28)の運営委員会で、事業分担が決定した。各担当者を中心に成案が検討されつつある。

◇ 通常活動

- (1) 渉外・機関紙: 田尻・落合
- (2) 港湾整備他: 吉村・上貞・対馬
- (3) 方言・生活習慣調査: 千葉・越中谷・木村
- (4) 「町並み」を撮る!: 飯田・落合

- (5) 研修旅行: 吉村・木村・佐々木
- (6) 都市景観問題: 石井・池内・石黒・対馬・吉村・上貞

◇ 特別事業

- (1) 開港5都市景観会議: 会長・吉村・石井
- (2) チャリティ・パーティ: 若山・清野・対馬・吉村
- (3) 創立20周年記念: 吉村・落合

役員留任、若山・吉村両氏新副会長に！

平成8年度、定期総会終わる

去る5月11日午後2時より五稜郭タワーに於いて、平成8年度の定期総会と記念講演会（講師：木下宏平氏）が開催された。

総会は約30名弱と例年並の参加であったが、吉村会員の司会で始まり、池内会員を議長に選出し、提案された議案は、原案通り可決された。

《議事》

- (1) 平成7年度事業報告について
- (2) 平成7年度決算報告について
- (3) 監査報告
- (4) 役員改選について
- (5) 平成8年度事業計画について
- (6) 平成8年度予算案について
- (7) チャリティ益金について
- (8) その他

役員改選では、浜島会長、田尻・落合副会長が留任、若山・吉村会員が新しく副会長に選任された。席上会長より、今田前会長を顧問に推薦し、運営委員を15名体制とする提案が出された。懸案の事務局長については未定であるが、当座は吉村副会長が担当する。

決算・予算及び事業計画については別表の通り可決された。

尚、総会に先立って、木下宏平氏による「函館港今昔物語」～安政6年より平成8年までの137年の歩み～と題する記念講演が行われ、

- ① 函館港の生い立ちと5大ポイント
- ② 港湾整備の経緯
- ③ 戦後の港湾施設の拡充
- ④ 海運業の変遷

と密度の濃い講演であった。

「海運業の新時代、他港の躍進の後塵を浴びてる悔しさを痛感し、全盛時代の姿に戻す強固な信念で、目的達成に向けて前進あるのみ。今年は平成8年、八は末広がり、七転八起、大いに期待したい」と結ばれ、印象深かった。それにしても時間が短かかったのが悔やまれてならない。

平成8年度 事業計画案

1. 函館の歴史的建造物、史跡の調査及び保存運動
 - (1) 主要建築物の文化財指定促進
 - (2) 文化遺産の見学・調査・研究推進
2. 文化財、史跡、町並み等の保存活用への啓蒙普及活動
 - (1) 文化遺産の見学及び学習会等を行ない保存活用を考える
 - (2) 歴史的風土の形成に関する学習会等の開催
 - ◇函館周辺部を含めた歴史探訪・研修等
 - ◇港湾整備計画に伴うウオーターフロントの整備・促進に対応した見学会・研修等
 - ◇函館港等の見学会・研修会等
 - ◇函館市（周辺地を含めて）の方言生活習慣等の調査研究の推進
3. 催事その他



(記念講演をする木下氏)

函館港の今昔
木下宏平氏
講演

平成8年度 予 算 案

収入の部		前期決算額		備 考	
科 目	予 算 額	前期決算額			
会 費	320,000	305,000	3,000円 x 90	5,000円 x 10	
繰 入 金	359,407	333,020	ファミリー会		
雑 収 入	500	749	基金利息		
繰 越 金	248,851	26,470			
計	928,758	665,239			

支出の部		前期決算額		備 考	
科 目	予 算 額	前期決算額			
事 業 費	425,000	167,440			
調査研究費	50,000	0			
研 修 費	50,000	10,000			
会 報 費	225,000	157,440	67,000円x3冊	8,000円x3冊	
写 真 展	100,000	0	展覧		
事 務 費	503,758	248,948			
消耗品費	25,000	18,514	印刷 ほか事務用品		
各種負担金	25,000	25,000	全道歴史の保存会 函館市評議会 函館市評議会		
通信運搬費	146,000	121,280	会報・組合費		
印刷費	50,000	29,154	組合費・印刷費		
会議費	20,000	5,000	組合 評議会		
雑 費	7,758	0	庶務費		
予 備 費	230,000	50,000			
計	928,758	416,388			

平成7年度 決 算 書
平成7年4月1日~平成8年3月31日

収入の部		前期決算額		備 考	
科 目	予 算 額	決算額	予算と比較		
会 費	325,000	305,000	△ 20,000		
繰 入 金	333,020	333,020	0		
雑 収 入	200	749	△ 549	基金利息	
繰 越 金	26,470	26,470	0		
計	684,690	665,239	19,451		

支出の部		前期決算額		備 考	
科 目	予 算 額	決算額	予算と比較		
事 業 費	215,000	167,440	47,560		
調査研究費	20,000	0	20,000		
研 修 費	40,000	10,000	30,000	ウオ-ターフロント見学会	
会 報 費	155,000	157,440	△ 2,440	50冊→53冊	
事 務 費	469,690	248,948	220,742		
消耗品費	25,000	18,514	6,486	印刷	
各種負担金	35,000	25,000	10,000	全道歴史の保存会 函館市評議会 函館市評議会	
通信運搬費	130,000	121,280	8,720	会報・組合費・その他	
印刷費	50,000	29,154	20,846	組合費・印刷費	
会議費	20,000	5,000	15,000	組合記念講演会	
雑 費	9,690	0	9,690		
予 備 費	200,000	50,000	150,000	各種記念講演会	
計	684,690	416,388	268,302		

収支差引金 248,851円は 平成8年度へ繰越

上記決算につき帳簿、領収証、預金通帳を監査の結果正確であることを認めます。

平成8年4月30日

監 事 久 住 達 印
監 事 岡 田 祝 津 子 印

◇定期総会に出席して◇

定年を機に40年余の首都圏での生活と別れ、故郷に戻った新入会員です。外からみた函館は、内地の人の憧れの地であり、故郷に大きな誇りを持っていた。西部地区の整備や歴風会の活動等を遠く聞き、喜んでいました。しかし、総会で今秋函館が「開港5都市景観会議」の開催地で、運営を市民団体が担当するが、市の組織的な協力態勢が希薄だと聞き、「観光都市」を宣言しているはずの市の対応に唖然とした。

弘前、松前の桜を見て来たが、観光地としての市・町の懸命な対応を感じた。しかし、五稜郭公園・函館公園の場合は、どうであろうか？

記念講演の木下宏平氏の「函館港今昔物語」は大変によく整理されて面白かった。昔の函館港を知る人間として、現在の姿は寂しい限りである。

これも、長い間の都市計画・港湾整備等に対する行政の「つけ」ではあるまいか？

遠く外から見ていた函館の現実との落差の大きさに、戸惑いを感じているところである。

願わくば、愛する函館の発展のため、歴風会の「ご意見番」としての一層の活動を期待したい。

(太田孝雄)

〈事務局日記〉

- ★4月 5日 開港五都市会議打合せ（於：古稀庵、浜島、石井、村岡、宇都宮、佐藤、榎森）
 1. 日程・会議の在り方
 2. 5月中旬迄実行委員会（仮）への呼びかけ
- ★4月 6日 運営委員会提出議案の作成（於：タワー 浜島、加賀谷、吉村、中田）
 1. 事業報告・会計報告・事業計画案・予算案
 2. チャリティ・パーティ会計報告
- ★4月19日 第1回運営委員会（於：タワー 浜島、田尻、落合、石井 千葉、中田、加賀谷、吉村）

報告：開港五都市会議他4件

議案：1. 総会（期日、場所）の決定

 2. 木下宏平氏「函館港今昔物語」
 3. 平成7年度の事業報告・会計報告
 4. チャリティ・パーティの収支決算
 5. 監査報告
 6. 平成8年度事業・予算案
などの討議をした
- ★4月19日 12月22日付 久茂地川フェスティバル実行委員会より「'95全国ウォーターフロント市民サミット イン那覇」の報告書とレジメを受領
 坂越のまち並みを創る会・機関紙受領
 平成8年度第19回全国町並みゼミ犬山大会の案内受領
 関西大学奥山氏（大学院生）より会の問い合わせあり
- ★4月26日 平成8年度総会案内状・総会資料 吉村氏より届く
 木下宏平氏と講演のレジメで連絡
- ★5月 2日 木下氏より講演レジメについて電話あり、若山氏に印刷等取りまとめ依頼 会報「おおの」44号受領
 関西大学奥山氏より礼状 第3回東京湾イベントの案内
- ★5月11日 平成8年度総会

2時：記念講演 「函館港今昔物語」 木村宏平氏

3時40分より総会開始 4時30分終了
- ★5月18日 正副会長打合せ
 1. 顧問、相談役、運営委員の委嘱について
 2. 第1回運営委員会

△議案・報告事項検討 △事務局の組織運営について

△事業の進め方について △会務の進め方について

〈グループだより〉

- ◇ おおの №44（大野町文化財保護研究会）
年間計画
- ◇ 越浦（坂越のまち並みを創る会・会報）
第18回全国町並みゼミ妻籠大会参加報告
- ◇ 有松 №34（有松まちづくりの会・会報）
田尻さんの「北の国、函館から」掲載
- ◇ あやめ通信 第3号（松倉川を考える会・会報）
松倉川探鳥会報告魚群の産卵活動を確認
- ◇ '95全国ウォーターフロント、市民サミットイン那覇
「元気の出る水辺激励会」～新たな運動の展開をめざして～ '95年11月25日那覇市立久茂地公民館

〈インフォメーション〉

- ◇ 第3回東京湾イベント
平成8年7月19日 船上見学会
7月20日 シンポジウム
(連絡先：044-555-2208実行委員会事務局)
- ◇ 第19回全国町並みゼミ犬山大会
平成8年9月28～30日 犬山市民文化会館

〈編集後記〉

- ◇ 本号は「総会特集」として発行した。
- ◇ 紙面の都合で、総合資料の数字がかなり細くなってしまった。
- ◇ 一人でも多くの会員の声を載せたいと云うモットーなので、投稿をお願いしたい。
(1,200字以内)
- ◇ 本号は太田・吉村会員のご協力をいただいたことをご報告し、感謝申し上げます。

(落合記)